

イベントカレンダー

2月	7日	★冬の野鳥観察講座 (申込終了)
	12日	季節の植物観察ガイド⑨
	13日	★冬の星座観望会 (申込終了)
	20日	野鳥観察会-冬鳥をみよう④
3月	28日	冬芽の観察会
	11日	季節の植物観察ガイド⑩
	12日	★※みんぱく関連イベント
	19日	野鳥観察会-冬鳥をみよう⑤
	26日	木や竹、木の実を使った工作
	27日	春の野草の観察会

★印は要事前申込です。
※アイヌの手仕事～自然素材と織物を中心に～水曜休館。

開館時間は午前10時～午後4時まで。

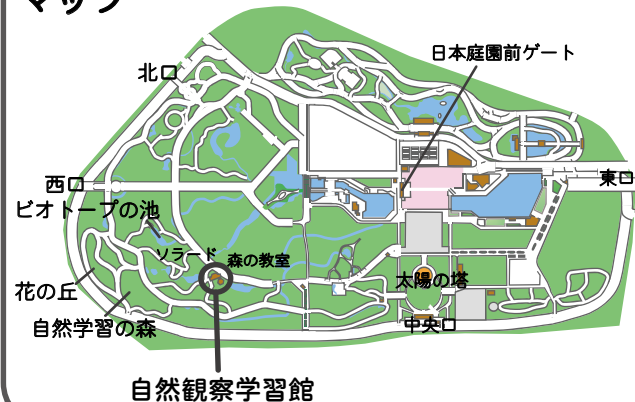
○行事の詳細、参加の方法などは自然観察学習館までお問い合わせください。

○学校などの団体対象の理科、生活科、総合学習などの教育活動支援も行っております。

館内展示

冬の自然展	開催中～2/1(月)	園内で見られる冬の植物や昆虫などを紹介
春の自然展	2/4(木)～4/4(月)	園内で見られる春の植物や昆虫などを紹介
パネル展示 森再生への取り組み	開催中～3/31(木)	「自立した森」再生の取り組みについて展示

アクセスマップ



～編集後記～

つめ きたかぜ なか あか ひ
冷たい北風の中にも明るい日差しに春のおとずれを感じる頃となりました。園内の小鳥では一番早く巣づくりを始めるエナガに注目です。

カワセミだより Web版

万博公園TOP > 自然観察学習館 > 広報誌「カワセミだより」
<http://www.expo70.or.jp/cause/nature/observation/#caption4>

ふゆ 2/29 まで
ばんぱくこうえん 万博公園で **冬みつけ** ビンゴ!

ビンゴ用紙は自然観察学習館、各ゲートでもらってね。

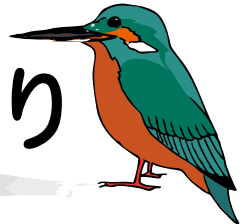
冬みつけビンゴカード

ビンゴになったら学習館が「森のプレゼント」! プレゼントは「自立した森」再生の取り組みについて展示

みつけた「冬」にマルをつけてビンゴを完成させよう!

ビンゴになったら自然観察学習館に持ってきてね。
1日につき先着30名様に学習館から「森のプレゼント」があるよ。

2016.2.01 2月号 カワセミだより NO.119



〈発行〉自然観察学習館 大阪府吹田市千里万博公園1-1 TEL:06-6877-6923
カワセミだよりでは、園内で出会える植物・昆虫・鳥などの自然のミニ知識を紹介しています。



色彩のコントラストがおしゃれ
バン (クイナの仲間)
ハトくらいの大きさ

くちばし 赤く先が黄色
首 泳ぐ時は首を前後に振ります。
はね 飛ぶより歩く方が得意です。

鳴き声 クルルーツと一声ずつ大きく鳴きます。

すね 赤い模様がついています。

あし 大きく、鮮やかな緑色

尾 白い三角斑が目立ちます。尾を前後に振って歩きます。

食糧 種子や水草、昆虫などを食べます。

泳ぎは上手だけど水かきはないよ。

オスもメスも同じ色だよ。

園内では砂の広場、みずすましの池、はず池で見られるよ!

植

物

すつと伸びた四角い茎に段々とつく葉が特徴的

ホトケノザ

ホトケノザは、シソ科の草本です。野原や道端でよく見かける植物です。花期は早春～初夏で、園内では花の丘や観察の森などで見られます。

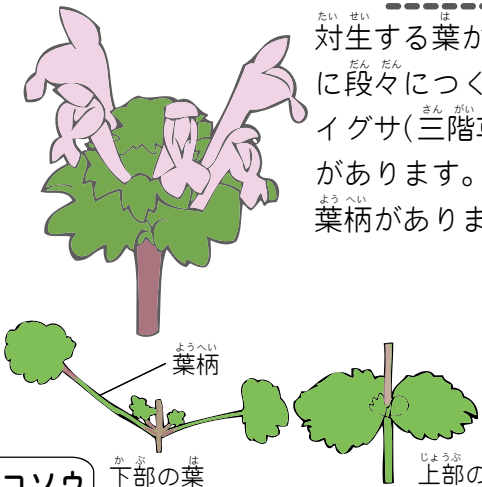
段状につく葉

対生する葉が立ち上がる茎に段々につくことからサンガイグサ(三階草)という別名があります。上部の葉には葉柄がありません。

対生とは、2つの葉が茎を挟んで反対方向につく事をいうよ。

閉鎖花もつける

花色は赤紫色が多く、葉の付け根に数個ずつ花がつきます。つぼみのまま花を開かず、そのまま実を結ぶ閉鎖花をつけることもあります。



ヒメオドリコソウ

下部の葉

上部の葉

似ている植物にシソ科のヒメオドリコソウがあります。葉と花の色や全体の大きさが似ていて花が咲く時期もほぼ同じです。ホトケノザの近くで生えている事もあります。

葉に毛が生えていてふさふさしているよ。触ってみよう。

見分ける ヒメオドリコソウは葉の先端が尖るポイントか上部の葉も葉柄を持っているよ。



植

物

早春に咲く空色の花 オオイヌノフグリ

オオイヌノフグリはゴマノハグサ科の植物です。ヨーロッパ原産で明治時代に渡来し、日本全土に帰化しました。道端、空き地、畑などの日当たりのよい所に生えます。

春先、いち早く咲く花

春の早い時期に空のような青い可憐な花を咲かせます。上部の葉の付け根から花柄を出して花をつけます。受粉が完了すると、花びらがぼろっと取れます。

園内では花の丘などで見られるよ。

横に伸びていく茎

葉は丸形で縁は浅くギザギザがあります。茎は根元近くで枝分かかれし、横にひるがります。

名前の由来

果実の形が犬のフグリ(陰のう)に似ていて在来種のイヌノフグリより花が大きいのでこの名前がつけました。



イヌノフグリ

花の大きさはオオイヌノフグリの4分の1くらい。



もっと自然

このコーナーでは自然を楽しむための色々な工夫や方法をお伝えしています。

姿を隠すわざ(警告色) ~昆虫編4~

昆虫は鳥に捕食されないように『保護色』『擬態』『隠れ家』などの作戦をとることを紹介してきましたが(カワセミだより8・10・12月号)、反対に目立つ色によって捕食されないこともあります。鳥は記憶力が良く、たとえばテントウムシは臭い汁を出す、ハチは針で刺すなどを覚えていて、見つけても捕食しようとしません。このようにテントウムシやハチは目立つ色によって「食べるとひどい目にあうよ!」と警告しているのですね。

